

The Warabi Times

SAITAMA PREFECTURAL WARABI HIGH SCHOOL FOREIGN LANGUAGE DEPARTMENT

VOL. 8: JANUARY 2020

◆ALT よい

Hello everyone and happy new year! I can't believe this first month went so quickly!

The school year is almost over. I'm sure many of you feel ready for school to end, or maybe you're not ready to leave your classmates. All of these feelings are normal. I would like to especially wish the third years the best of luck while they take their university entrance exams. I know they will do very well and end up where they are meant to be.

So, during these last few weeks of school, think of what you accomplished this year. Even if you feel like you didn't achieve much, just know that the small things - like getting up and going to school every day - are accomplishments too. What will your goals for the next school year be?

Enjoy the rest of the school year! (Annelise)

Hi everyone,

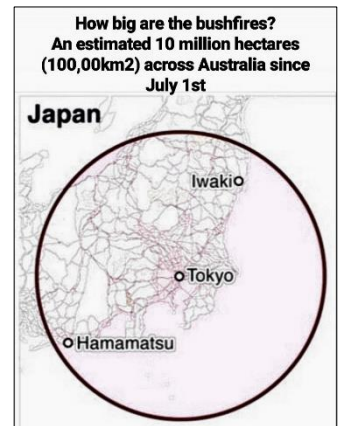
So some of you have asked me about the bushfires in Australia, so I thought I would quickly talk about them here. First, I am very luck that the fires have not affected me or my family as I am from Western Australia and most of the fires are on the Eastern Side. However, for me it is heartbreaking to see the damage that has been done, not only for the people living there but also for the wildlife that died. It is estimated that over 1 billion animals have died.

The bushfires started all the way back in July however they only got really bad in September 2019 and they are still burning. Our fire season started earlier than normal and is expected to go longer as well. Australia is in a draught, meaning we haven't had enough rain for a long time, so it was very dry and this is the reason the fires got so big and so fast. Many of the fires that started were from natural events, like a lightning strike.

To put into perspective how big the bushfires are it's estimated that 1 million hectares (100,000km²) have been burnt since July 1st 2019. I have added a photo comparing Japan to the area that has been burnt.

Overall, it's very difficult for me to see the damage that is being done to Australia and not being there to help in some way. So, I am trying to do all I can while here in Japan. Currently most places are not in need of things, they are in need of money to buy medical supplies for humans and animals, food, water, and new firefighting equipment.

So if you want to learn more about the fires please feel free to come and chat me me anytime. (Rebecca)



◆各学年英語科より

< 1 学年 >

いよいよ学年末考査まで残り 1 カ月を切りました。英表、コミュ英ともに範囲がとて広くなりますが、勉強は順調に進んでいますか？ 1 年生の集大成です。ベストを尽くしましょう！コミュ英で学んでいる漫画、「ピーナッツ」より…

“Learn from yesterday. Live for today. Look tomorrow.”
“If you want something done right, you should do it yourself!”



< 2 学年 >

「英検 2020 1 day S-CBT」の第 1 回検定 (4 月～7 月) の本申込が、いよいよ 2 月 9 日から始まります。授業でもアナウンスしましたが、その詳細が 1 月 29 日にウェブサイト上で発表されました。各自よく確認し、滞りなく申し込みを完了させてください。これも入試の一環です。別件ですが、コミュ英Ⅲの教科書が届きましたので、順次配布します。Lesson 8 まで、すでに週末課題として読み終わっていますが、実物を手にとって読み物のつもりで読み直してみましよう。

< 3 学年 >

センター試験お疲れさまでした。とりあえず一山超えました。結果をしっかりと受け止めつつ、引きずることなく、今この瞬間にできることに全力投球して突き進みましょう！個別の入試に向け、いよいよ最後の追い込みです。添削が必要な場合は遠慮なく、いつでも、先生方に相談してください。受験に関係のない世間話でも大歓迎です。焦らずに、今まで積み上げてきたものを、そして、自分を、信じて臨んでください。集中力・精神力・体力とで 1 点でも多く点数を取り、後悔することのないようやりきる！あと少し、一緒に頑張りましよう！

◆留学生陳さんのお正月

中国からの留学生の陳さんが、今年のお正月の過ごし方、また中国のお正月について皆さんに紹介する文を書いてくれました！日本のお正月との共通点、違う点もあり面白い内容です。

日本の「年味」

「明けましておめでとうございます！」お祈りの鐘の音と共に、ホストファミリーとの、2020年最初の一言です。2020年の新春が私にとって特別ではないかと思っています。初めて中国の親元を離れて、日本のお正月を体験したからです。

中国では「年味」という言葉があり、「新年を迎えるときに一家だんらんで睦まじい雰囲気」という意味ですが、異国の日本ではなかなか体感できないんじゃないかと思いこんでいましたが、とても楽しく「年味」満々のお正月を過ごせました。お正月前にホストファミリーと一緒に大掃除したり、鏡餅などを飾ったり、食材を準備したりしました。少々忙しいですが、これこそ、お正月の時に一層楽しめるのではないかと、思いました。そしてお正月当日は、ホストファミリーのお母さんとおせち料理を作りました。重箱にいっぱい詰めるおせち料理には、たくさんのきれいな料理があり、中では一番好きなのは紅白かまぼこです！魚のあっさりの味がして、食感も柔らかくてもちもちしますので、本当に大好物でたくさん食べてしまいました。ほかには、お雑煮、筑前煮、年越しそばもおいしかったです。紅白戦も面白かったですが、推しの賀来賢人と小松菜々はもし紅白戦に出ればよいな、とお願いしましたが、当たり前ははずれました（泣）。2020年のお正月は、ホストファミリー、私の第二の家族と一緒に「年味」満々に過ごせて、本当によかったなと、心から思います。

そして2日には、朝ご飯はお餅を焼いて、醤油をつけて食べたら、初詣に行きました。「神様、どうも、今年もよろしく。」

中国春節についての雑な一、二言

同じアジア圏の私の故郷、中国では、旧暦のお正月、つまり旧正月で新年を迎えます。この最も重要とされる祝祭日は春節といいます。日本と同じく、春節を迎える前に家庭では大掃除や飾りなどの行事があり、そして春節の前夜、除夕では、家族だんらんで紅白戦みたいな「春晚」という番組を見ながら、「年夜飯」を食べて夜を明かし、新年を迎えます。

地域によって「年夜飯」も大きく異なりますが、私の故郷、山東省済南市は北の方で、魚や鶏などの料理は一般的ですが、北方では餃子が知られており、よく家族ごとで餃子をつくりながら「春晚」を見ます。中国の水餃子はおかずとして日本の餃子と違って、主食とみられており、私は海老餡の水餃子が大好きで、海老の水餃子なら余裕を持って2皿以上が食べられます～（1皿には十二個ぐらい）ほかには、北方でよく揚げ団子をつくっております。主に豚肉のロースを選び、細かくみじん切りにして、そしてお団子のように適当な大きさを取って、表面には小麦粉で包んで揚げます。家庭によって味もずいぶん違うんですが、私の家族にはいつもまずいをつくっておりますが、ちいさいころ偶然友達のお母さんが作った味がさっぱりしているがりがりの揚げ団子を味わい、「揚げ団子ってこんなにおいしいの？」と、びっくりしました。そして揚げ団子というのはまずい食べ物ではなく、ただうちには揚げ団子をつくる腕が下手すぎるとわかりました。

